

第4回関西支部研修会/CISJ

BLSヘルスケアプロバイダーコース

講師：佐久間 泰司先生、孫 弘樹先生、中尾 光成先生、
坂元 正和先生 他

日時：平成24年9月2日(日)

場所：大阪第一生命ビルディング 15F



矢田 孔太郎 (滋賀県)

今回は、救急救命における心肺蘇生に関する講義でありマネキンを使った実習も多く、また2010年に改正されたAHA (American HEART Association アメリカ心臓学会) の最新のガイドラインに基づく内容で大変充実したものになりました。この講習は専門医、指導医更新時に10単位になるということもあり、また最後にテストが実施される予定だったので終始緊張感を保ったまま進められました。

改正されたガイドラインでは、多くの変更点があり私自身が大学の講義で習ったいわゆる A-B-C(気道-呼吸-胸骨圧迫)ではなく、C-A-B(胸骨圧迫-気道-呼吸) に変わったことが一番の変更点でした。

BLS(Basic Life Support) 手順の概要／成人の場合

1. 傷病者の反応の有無の確認。正常でなければ大声で助けを呼ぶ。
2. 救助者が一人の場合は救急車に連絡。AEDがあればもってくる。

3. 傷病者の脈拍をチェック(5秒以上10秒以内)
4. 胸骨圧迫から開始して胸骨圧迫の人工呼吸のサイクルを5回繰り返す。

胸骨圧迫の方法

1. 傷病者を固い平らな表面に寝かせて、脇の位置につく。
2. 片手の手の平の付け根を、傷病者の胸部中央の胸骨の下半分におく。
3. 救助者は腕をまっすぐにし、手の真上に肩が来るように
4. 強く早く推す。

毎回少なくとも5cm、圧迫は少なくとも1分間100回のテンポで30回圧迫したら、2回、人工呼吸の割合で最低5サイクルもしくは2分間おこない、傷病者の意識の確認。

救急蘇生の必要な場面にいつ遭遇するかはわからないので、今回の研修を生かして何かあった場合に備えることは重要だと感じました。

